

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第 18 号

目 次

論説

- フィリピン・ボホール島におけるマングローブの伝統的利用と
その開発による影響について 安食 和宏 (1 ~ 17)
- 干拓地農村の集落編成と高齢者意識
— 岡山県玉野市南七区・東七区の事例 — 石阪 督規 (19 ~ 41)
- 後期表現主義 — ある文学運動の総決算 — 宇京 早苗 (43 ~ 56)
- 大清律輯註考釈 (三) 谷井 俊仁 (57 ~ 70)
- ブレヒトの『コリオレーナス』について 友永輝比古 (71 ~ 79)
- 地域と霊の实在
— 1990年代におけるプロテスタント教会の地域観 — 中川 正 (81 ~ 95)
- 《伍倫全備諺解》語彙、語法分析
— 《老乞大》《朴通事》との比較を中心に — 福田 和展 (97 ~ 114)
- 制度・意味世界・言語 村上 直樹 (115 ~ 127)
- 梅川文男研究 (1)
— プロレタリア詩人、堀坂山行の軌跡 — 尾西 康充・岡村 洋子 (1 ~ 5)
- 中井履軒『中庸逢原』の誠をめぐる 遠山 敦 (7 ~ 13)
- 「女学生神話」の誕生を巡って 平石 典子 (15 ~ 25)
- ためきの金時計 — 童謡の隠された謎に迫る — 武笠 俊一 (27 ~ 31)
- 1849年アスタープレイス暴動
— 19世紀中葉ニューヨークの社会関係と文化 — 森脇由美子 (33 ~ 45)
- 蘇軾の詩における禅語の受容について 湯浅 陽子 (47 ~ 61)

研究ノート

- 1800年までのヨーロッパの文献にあらわれた伊勢地方 大河内朋子 (129 ~ 139)
- レッシングの文学・芸術論 (その四) 太田 伸広 (141 ~ 150)
- 進化論と Woman Question 小川眞里子 (151 ~ 160)
- インドネシア、セラム島・サフラウ村における生物資源利用
— ウォーレシア地域の特徴の分析にむけて — 野中 健一 (161 ~ 172)
- 日英語対照研究のための名称なし日本語地図課題対話コーパスの作成
— 予備実験と転記テキスト — 吉田 悦子 (173 ~ 195)

三重大学人文学部

2001